

半調節性咬合器の活用法

前川清和

日常臨床での咬合器は調節機能の付いていない咬合器を使用するケースが多いですが、側方運動時のチェックバイト、フェイスボウトランスファーなどしっかりとした情報がある場合その再現を半調節性咬合器で行います。今回はその咬合器の大きな役割を伝えればと思います。